

2026
6

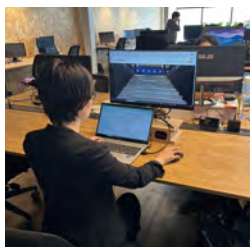
まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌟文化・体育 💧その他

| | |
|------|--|
| 1 月 | <ul style="list-style-type: none"> 📌 国民健康保険料納期限 📌 後期高齢者医療保険料納期限 📌 固定資産税納期限 |
| 2 火 | |
| 3 水 | |
| 4 木 | |
| 5 金 | |
| 6 土 | |
| 7 日 | <ul style="list-style-type: none"> 🌟 きじま寄席 桂弥っこ公演(来島交流センター) 📌 飯南町消防団夏期訓練(頓原防災拠点施設) |
| 8 月 | |
| 9 火 | |
| 10 水 | |
| 11 木 | |
| 12 金 | 📌 マイトリーコンサート[in the sun](来島交流センター) |
| 13 土 | 📖 人権学習+α(谷笑楽校) |
| 14 日 | 📌 ポピー祭(東三瓶フラワーパレー) |
| 15 月 | |
| 16 火 | <ul style="list-style-type: none"> + オレンジカフェ(赤名福島邸) + 住民健診(谷笑楽校) |
| 17 水 | <ul style="list-style-type: none"> + 住民健診(小田体育館) + 健康にい〜にゃん週間(〜23日) 📖 頓原中学校区小中学校合同音楽会(頓原中体育館) 📖 赤来中学校区小中学校合同音楽会(赤来中体育館) |
| 18 木 | + 住民健診(赤名改善センター)(〜19日) |
| 19 金 | |
| 20 土 | 🌟 しば餅づくり(来島交流センター) |
| 21 日 | 📌 しまね家庭の日 |
| 22 月 | + 住民健診(保健福祉センター)(〜24日) |
| 23 火 | |
| 24 水 | |
| 25 木 | |
| 26 金 | <ul style="list-style-type: none"> 📌 はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 📌 きじま里山講座ホタル観察会(ふるさと回帰館) 📌 halfナイトウォークラリー(さつき会館) + オレンジカフェ(つかが工房) |
| 27 土 | + オレンジカフェ(上赤名会館) |
| 28 日 | |
| 29 月 | |
| 30 火 | <ul style="list-style-type: none"> + 住民健診(さつき会館) 📌 国民健康保険料納期限 📌 後期高齢者医療保険料納期限 📌 町県民税納期限 |

(毎週火・水・金曜日) + ほっと.Café(来島保健センター)

町の人口 4,200人(前月比+21人) 世帯数1,961戸 R8.5.1 現在



転職を通して経験を積んできたことで、一生続けられる仕事に出会えたという山室さん。「働くスタッフ1人ひとりにメリットがあり、個人も会社も成長できる循環を作りたい」と、管理職としての目標を話します。

Webシステム開発、DX支援などを手掛ける株式会社イーグリッド(出雲市)で、IT技術を使い、多様な視点からビジネスを支援するビジネスソリューションディビ.部長として活躍する山室真里子さん(40歳)。

「ルーツいいなん」58

このまちに住んでいようと、なかるうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

豊かな経験が人生を切り拓く

の会社に就職する以前は、バイヤー、営業など多様な業種に就いてきたといえます。

「多角的な視点を持ち、双方向的な判断力を身につけたい。そのためには、幅広い経験が必要だと思いました」と山室さん。「自分にとってどんなスキルを手に入れられるか」を考えながら仕事をを選んできたといいます。

現在勤務しているIT企業にも未経験で入社し、勉強しながらITスキルを身につけてきた山室さん。幅広い物事に関心を持ち、学び続ける姿勢は、祖父のおかげだといいます。



やまむら まりこ
山室 真里子
(旧姓:安部)

野苺出身、飯南高卒業。鳥根県立大学を卒業後、京都の商社に就職。結婚を機に鳥根にリターンし、現在はシステム・ソフトウェア開発等を手掛けるIT企業で活躍(出雲市在住)。

「祖父は博識で、色々なことを考えている人でした。植物や歴史の話など、様々なことを教えてくれた。幼い頃から、祖父の話聞くのが楽しみでした」と振り返ります。

現在は管理職として、エンジニア、デザイナーなど多様な職種スタッフと一緒にプロジェクトを進める山室さん。

「多様な職種の力を組み合わせ、新しい価値を生み出していく仕事。新しいビジネス展開や、お客様の経営支援に及ぶことも。正解がないので大変だが面白い」と微笑みます。

今月の表紙

来島公民館「タケノコ掘り」に参加した飯南高校生。県外からの入学生は、初めての経験に歓声を上げていました。

タケノコがなかなか掘れず苦戦する場面では、地域住民がお手伝い。「出身はどこ」「何部に入ったの」など会話を楽しみながら、爽やかな汗を流しました。(4ページに関連記事)



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ